



夢の星新聞 《1年生》

2026年10月1日（木）

発行 宇佐キャンパス

10月号 編集人：藤井・田所

10月号

半径5mの「ちょっと気になる」を意識して欲しい！



突然ですが、皆さん、左の写真は、京都の街並みを映した写真ですが、何か気づくことはありませんか？答えを言っちゃうと、京都の街には電線がないのです。ある鹿児島県に住む女子大生の話ですが、彼女は高校の修学旅行で京都に行った時、電線が街に見当たらないことに気づき、居てもたってもいられず市役所に駆け込み、その理由を職員の方に尋ねました。そこで彼女は、世界から観光客が集まる京都では、景観を守るために電線を地下に

埋めているということを聞きました。それまでの彼女は、将来何を学んで、どんな事がしたいのかが全く分からなかったのですが、このことがきっかけで、「観光」「街おこし」「地域の活性化」といったことに強い関心を持つようになり、そういったことを学べる大学に進学し、今は大学のプログラムで、行政と連携したプログラムに取り組んでいるそうです。ここで何が言いたいのかというと、将来、自分が何を学び、どんなことをしていきたいのか？が、まだはっきりしていない人は、この鹿児島の女子大生のように、「ちょっと気になること」を大事にして欲しいということです。ちょっと気になることって、意識していれば、結構身近にあるのではないのでしょうか？何故か気になって、携帯で写真を撮ったりしたことはないですか？その時に、**何で気になったんだろう？**っていうことを自分に問いかけてみて下さい。そこに自分が学んでみたい、やってみたいと思えるものが隠れていると思います。一度、試してみてください（＾＾）

= 将来、やりたいことの見つけ方 =



ちょっと気になる！

何で気になる？

セットで考える！

担任から、ひとこと

アジア競技大会を見ていて感じたこと

9月19日から始まったアジア競技大会では、様々な競技で日本人選手が活躍していました。特に印象に残っているのが60年ぶりに強豪中国を破り、優勝に大きく貢献した19歳の松島くん。また身長169cmと小柄ながら水泳男子200m平泳ぎで世界新記録で優勝した17歳の大橋くん。いずれも、皆さんと同世代です。2人とも、これまでの想像を絶する努力の結果だ



と思います。彼らと同じようには言いません。でも、礼節を重んじるとか、決めた事をやり通すとか、できそうな事は真似して欲しいです。

副担任から、ひとこと

秋の夜長 読書でも ～ポリアンナ効果とは～

私は、1冊/週のペースで本を読むことを目標にしています。なかなかそのペースにならないことは多いですが、朝30分は読むようにしています。最近「少女ポリアンナ」という本を読みました。この本は、小学生5・6年生向けのものと表紙に記されていて、確かにその子たちが読むのに適している内容と思いました。では、どうして還暦を過ぎた私が読んだかというところある校長先生がポリアンナ効果というものと表現していました。なんのことかと気になり調べると上記の本に巡り合いました。アニメとしても放送されています。とても気持ちの晴れぱれする素敵な本でした。

～過ごしやすい季節、ゆっくり読書もいい時間～

